

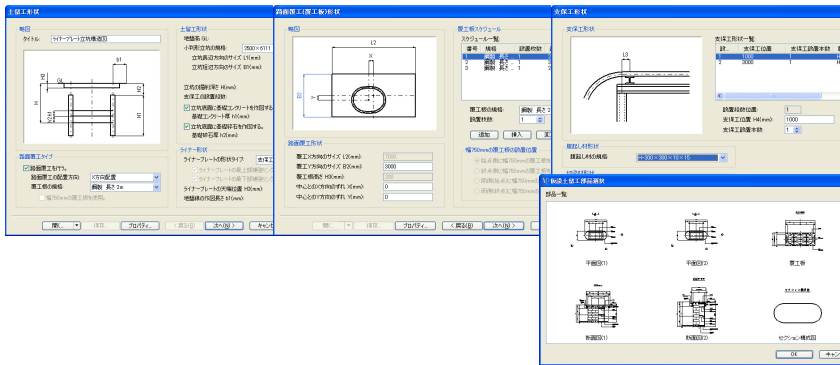
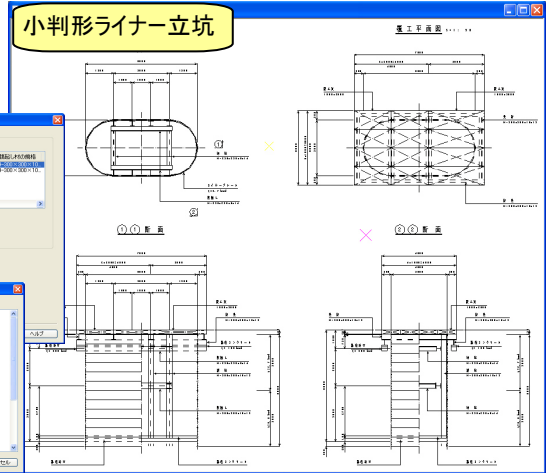
Civil Rapid, Rapid Draw ～ Ver7 の主な新機能のご紹介 ～

Civil Rapid, Rapid Draw は、新機能の搭載および更なる操作性の向上を図り、この9月27日に、ついに Ver7 をリリースしました。

以下に、Ver7 で追加された主な新機能についてご紹介いたします。この機会に是非バージョンアップをご検討ください。

仮設図自動作図機能に、円形・小判形ライナーが追加 ～ Civil Rapid ～

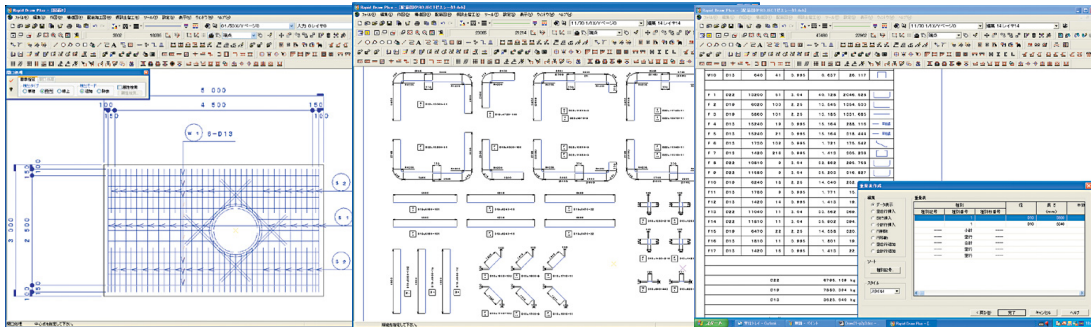
仮設図の自動作図機能として、これまで搭載されていた『鋼矢板立坑』および『鋼矢板開削土留工』に加え、今回のバージョンアップにより、新機能である『円形ライナー立坑』および『小判形ライナー立坑』がウィザード形式により自動作図できるようになりました。



【加工図】【鉄筋表】コマンドが利用可能に ～ Rapid Draw ～

Rapid Draw に、これまで Civil Rapid と Rapid Draw Plus にしか搭載されていなかった【配筋加工図】メニューの【加工図】コマンドと【鉄筋表】コマンドが追加されました。

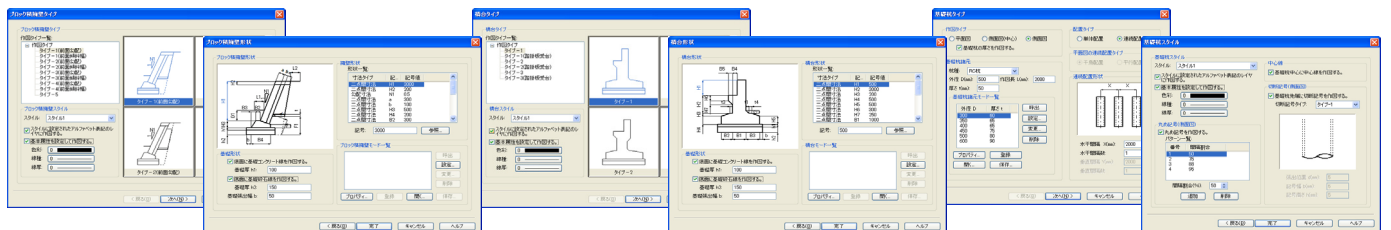
これにより、【加工図】コマンドで加工図を作図し、【重量表】コマンドで鉄筋の集計表を自動作成することが可能になりました。



・配筋加工図(展開図、組立筋、断面筋、継手処理、開口処理、鉄筋注釈、加工図、鉄筋表)

【擁壁】【橋台・橋脚】【基礎】コマンドが利用可能に ～ Rapid Draw ～

Rapid Draw に、これまで Civil Rapid と Rapid Draw Plus にしか搭載されていなかった【構造図】メニューの【擁壁】コマンドと【橋台・橋脚】コマンドと【基礎】コマンドが追加されました。

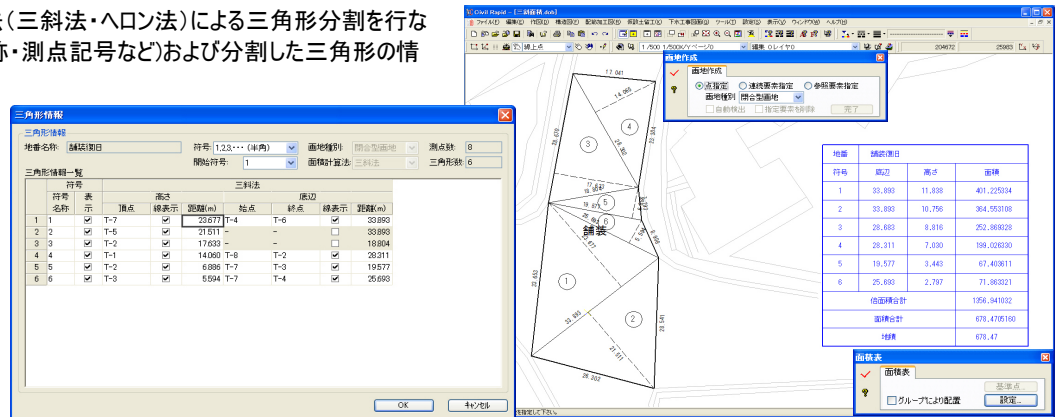


・構造図(人孔、側溝、暗渠、開渠、擁壁、橋台・橋脚、基礎)

三斜面積・ヘロン面積計算機能の追加 ~ Civil Rapid ~

画地要素の作成および面積計算法(三斜法・ヘロン法)による三角形分割を行ない、画地の情報(地番名称・測点名称・測点記号など)および分割した三角形の情報を設定できるようになりました。

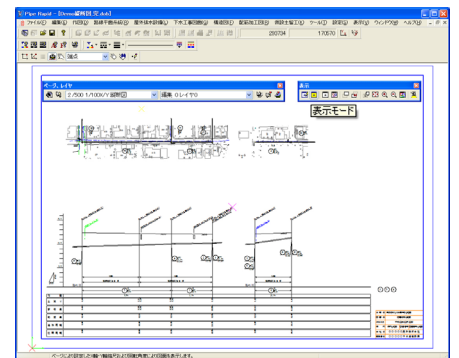
また、面積集計表の作成も自動で行なえるようになりました。



表示モードでの編集が可能に

表示モードにおいても編集が可能となり、例えば X・Y 異縮尺図面での作業効率も向上します。また、要素検索機能、スナップ機能などにも対応しました。

【ファイル】関連、【編集】関連、【作図】関連、【ツール】関連、【構造図】関連、【配筋加工図】関連、【仮設土留工】関連、および【下水工事図面】関連の各コマンドに対応しました。



その他にも・・・

- ◆ 【基本属性参照】ツールバーが新たに追加され、色彩、線種および線厚の参照機能が便利になりました。
- ◆ 属性グループ要素の編集において、グループ単位で編集するか、グループ内の各要素単位で編集するかの選択が可能になりました。
- ◆ 【ウィンドウ】メニューに、【縦に並べて表示】コマンドが追加されました。
- ◆ 【印刷】【連続印刷】において、白色のみを黒色に変換して印刷する機能を追加しました。
- ◆ 【ポリライン】および【複合ポリライン】の作図基準要素として、【接線】を追加しました。
- ◆ 文字要素のフォントが Windows システムに存在しない場合、「MS ゴシック」により表示可能な機能を追加しました。
- ◆ 【ページ・レイヤ編集】において、マウスクリック位置やクリック数により動作を変更できるようになりました。
- ◆ 【半径寸法】、【弧長寸法】、および【距離寸法】における対象要素として、路線要素なども作図可能になりました。

・・・etc・・・

お問い合わせ

上記に関しては、お近くの弊社営業所(東日本営業所・西日本営業所・福岡営業所)までお問い合わせください。

CSD
株式会社シビルソフト開発
CIVIL SOFT DEVELOPMENTS CO.,LTD

・東日本営業所 03-5833-2405
・西日本営業所 06-6307-1360
・福岡営業所 092-282-8722